

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日		記入者		連絡先	3383	
平成18年度部名	土木部	課名	下水道管理課	課長名	小菅 庸夫	
平成19年度部名	土木部	課名	下水道管理課	課長名	河本 公文	
事務事業名	公共下水道不明水浸入対策事業					
予算上の事務事業名	公共下水道不明水調査委託、公共下水道不明水対策施設修繕					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	32630	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					
施策名	第3施策 下水道管理の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法第3条(管理)					
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	対策			5 事業開始年度	平成11年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
公共下水道の整備区域の拡大は、汚水量の総対的な増加の一方で不明水の増大を招いており、不明水の浸入による下水道施設の維持管理が危機的な状況となっている。このことから、不明水の実態調査等を実施し、進入原因の適正な把握と、効果的な排除対策を実施することにより、公共下水道施設の適正な維持管理を図るもの。				公共下水道整備済区域		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
調査修繕地域：陽光台2丁目地区 3.7 ha 公共下水道不明水調査委託 2,431千円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	相模川流域下水道関連公共下水道事業を実施している本市を含む9市3町及び神奈川県において、不明水浸入防止を最重要課題の一つと位置付け、各市町で同様の取り組みを実施している。					
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	9,923	15,148	2,431	18,200	57,900	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	9,923	15,148	2,431	18,200	57,900	
人件費の合計	8,070	8,050	8,050	24,150	24,150	
事業コスト合計	17,993	23,198	10,481	42,350	82,050	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	公共下水道不明水調査・修繕事業			対象名称 と単位	事業面積(ha)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	17,993	23,198	10,481	42,350	82,050	
対象数	6	7	4	65	147	
単位あたり経費(円)	3,213,036	3,134,865	2,620,250	651,538	558,163	
前年度比		0.98	0.84	0.25	0.86	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	調査延長（m）		指標式と指標の説明	調査延長	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2,040.0	1,155.0	1,460.0		
目標	2,040.0	1,155.0	1,460.0	1,350.0	3,400.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	修繕実施延長（m）		指標式と指標の説明	修繕実施延長	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	118.0	390.0	0.0		
目標	118.0	390.0	0.0	25.0	680.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		相模川流域下水道事業参入9市3町の中で、本市の処理面積および汚水量は最大である。 左岸処理区においての面積率は約52%を占め、不明水の進入量が膨大になることから、対策については積極的に実施していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
不明水浸入防止対策を効果的にするためには、浸入率の高い地域から計画的な年次計画により、順次実施する必要がある。			不明水浸入防止には多額の費用と期間がかかることから、特定財源の確保が必要となる。 また、対策後の成果が見え難く、数字に現れるまでに相当の期間を要す。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・公共下水道（汚水管）への雨水等の浸入対策の計画的な実施に努め、終末処理場の負担軽減を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			